笠間市地域おこび協力隊活動報告

No. 13

プロフィール

中島 良子(45歳) 東京都より移住



笠間稲荷神社参道の朝顔

夏のにぎわい 門前通りの朝顔とあさがお川柳大賞

笠間稲荷門前通りに小塔仕立ての朝顔を並べ、笠間の暑い 夏に少しでもにぎわいや彩りを持たせ、楽しんでいただこうと 笠間市商工会主催の第4回朝顔プロジェクトを今年も実施しま した。門前通り商店街の女性で構成される「朝顔女子部」の皆 さんと高さ1.5mの小塔に大切に朝顔を植え込み、門前通りに 並べました。その後も枯れた苗を植え替えたり、つるを這わ せたり、種を埋め込んだりと、朝顔を設置していただいた商 店街の方々と協力して綺麗な朝顔を育てました。

また「あさがお川柳大賞」も第2回を迎え、実行委員として活動しながら笠間市内の老人ホームや商店等に応募用紙を配布し、広く皆さんにご協力をお願いしました。応募された川柳は門前通りに飾られていますので、ぜひ見に来てください。

・地域おこし協力隊とは・・・・・・



地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の 意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動 を行うものです。笠間市では平成25年度から隊員を受け入れました。

ブログやフェイスブックもご覧ください

ブログ▶http://ameblo.jp/kasamart-wa/ facebook▶https://www.facebook.com/Kasamartowa 【問合せ】まちづくり推進課(内線537)

安山市協力交流研修員 安公公 2 8 2 2 8 2 2 8 2 2 8 2 2 8 2 2 8 2 2 8 2 2 8 2 2 8 2 2 8 2 2 8 2 2

笠間のまつりに参加しました!

8月16日(土)に「灯籠流し」が行われました。色鮮やかな灯籠が川を流れ、とても幻想的な風景が印象に残りました。当日は、笠間のまつり実行委員の皆さんと一緒に灯籠の準備も行いました。たくさんの方々が参加し、先祖の御霊を送ることで、笠間市の方々が先祖を大切にする想いが伝わってきました。

17日(日)は、「光のオブジェ(ねぶた)&神輿パレード」が行われました。 私とビンボさんも、特別な衣装に身を包み、おきつねメイクをして、50人を超える市役所チームの一員となり、跳ね人として祭りを楽しみました。 跳ね人のためのこの特別な衣装は、付いている鈴が不思議な力を持っていて、鈴の音が幸運をもたらすと言われているそうです。 ねぶたや跳ね人、お囃子、獅子舞などのパレードには、保育園児からご年配の方まで、多くの方が参加し、街全体で祭りを盛り上げていました。

「笠間のまつり」に参加したことは、大変貴重な経験となりました。

みんなで団結してがんばるという日本文化を学ぶことができたと思います。伝統的な踊りや文化を、次の世代へ伝える貴重なお祭りを、これからも長く続けてほしいと感じました。

単に研修の一環としてではなく、笠間市民の一員として、このお祭りを楽しめたと感じています。素晴らしい思い出となりました。 Htein Lin Aung

笠間市協力交流研修員》

テイン リン アウンさん(ミャンマー内務省職員)とシーサワット ビンボさん(ラオス・ルアンパバーン州職員)の2名が観光行政を中心とした研修に取り組んでいます。

